



舞岡の周りに、たんぽぽ、オオイヌノフグリが顔を出し、色とりどりのお花が咲く春。今年も、27名の新わかばっこを迎えました。初めは園舎中に泣き声が響き渡っていましたが「今日は、少しご飯を食べてくれました」「笑ってくれたんです」と、保育士は、ほんの少しの変化を喜び、事務室は、こどもたちの話題でもちきりでした。日毎に、子どもたちの表情が和らいでいくのを感じ、「よかったね。頑張ったね」と、声をかけたくります。最近では、ハイハイで探索も始まり、色々な所へお出かけしています。毎年の事ですが、子どもたちが環境に慣れていく、スピードの早さに助けられます。



たけのこ1本ちょうだいな～



「こいのぼりいっぱい」

幼児の子どもたちは、一つクラスが大きくなった事が誇らしく、どんな時にも「だって、〇〇ぐみだもん」と、張り切る姿があらこちらで見られます。今年も、でかぞうぐみが裏山で掘ってくれたタケノコをみんなで美味しくいただきました。暑くなれば、恒例の泥んこ遊びも始まり、園庭も賑やかになってきます。

先日、りすぐみの子が、背を丸めてジーとしている姿があり、傍にそっと座ってみると、目線の先には、ありが一列に並んで行進していました。その子は、私に気付くとありを指さして、にっこり！



舞岡の田んぼで！「カモいるよ～」

この時期は、たくさんの生き物にも出会えます。幼いころに身につけた、好奇心や、探求心は、その先の意欲に繋がります。だからこそ、遊びの中で、五感をフルに使って過ごす時間を大切にしていきたいです。

わかば保育園園長 伊佐治由紀



社会福祉法人あらくま会
新杉田のびのび保育園

梅雨入りの便りが聞かれる季節となりましたが、あらぐさ会会員の皆様お変わりありませんか？

のびのび保育園も今年開園14年目を迎えました。開園当時年長さんだった子どもたちも18歳、この春大学進学が決まったAちゃんが遊びに来てくれました。在園期間は僅か1年でしたが、それでも保育園が懐かしいと言って訪ねてくれたのです。

今保育園は様々な事で注目されています。待機児童問題、深刻な保育士不足、保育士等の処遇改善、保育の質の向上と課題が山積み、もちろん園の努力だけでは立ち行かない事ばかりです。そのような中でも一番優先したいのは「子どもの処遇」、日々子どもたちが自分らしさを出しながら安心して暮らせるよう、生活や遊びを通して充実した保育園生活が送れるよう私たち大人は努力しなくてはなりません。



あじさいきれいだね(雑草コーナー)



ぼくらのおうち製作中

のびのび保育園では「園庭環境を考える～雑草プロジェクトチームの取組とすのこあそび～」このテーマでここ3年ほど保育を考えて来ましたが、散歩で子どもたちが捕ってきたり、職員が自宅から持ってきたダンゴムシやワラジムシを雑草プランターに「放牧」したところ、今年の5月半ばにその虫たちが「出産」し大事件になりました。

出産に立ち会った職員と子どもたちは、仰向けになったワラジムシが半透明の赤ちゃんを次々に産むシーンを見て「お母さん、すごいね！」「すごすぎる！」と大興奮でした。昨年度は本園で「園庭のない保育所という環境が保育や子どもに及ぼす環境～運動の視点からの検討～」という2回目の調査がありましたが、幾つかの運動を通して園庭のある保育園と比較して子どもの運動能力に差がなかったことが分かりました。その理由として「自由あそびを中心にプログラムが組み立てられており、掃除の時間に雑巾がけを意図的に子どもの運動量を増やす取組が園全体でなされている」ことが考えられるとのことでした。まだまだ園の課題は沢山ありますが、子どもたちの「たのしい」思いをさらに広げていけるよう取り組んでいきます。

新杉田のびのび保育園園長 山中あけみ



春といえば満開の桜が見事で、桜のドームで覆われた様は、まさに桜道というのにふさわしく、卒園・入園を迎えるご家族にとっても、心に残る風景だったかと思います。移管から3年を経て3回の四季が巡り、歩道の整備で桜は切り倒され、桜道も変わってしまいました。替わりに植えられた濃いピンクの花が咲く背の低い若木は、少々頼りないのですが、これから子どもたちと一緒に成長していくことでしょう。

新しい一年が始まり、ひよこ組、りす組の新入園児も、次第に笑顔を見せてくれるようになりました。4月の初めは、園長も主任も事務も総動員でおんぶにだっこをしていたのに、2か月ほどですっかり担任との絆を深めて、それ以外の人たちには少々よそよそしくなってきたようで寂しいです。

半世紀近くになる笹下保育園の園舎は、今年はペンキを塗ってお色直しをしました。建物の基礎の点検も終わりました。園庭のすべり台の代わりにうんていや大型遊具を設置しますが、鉄棒を撤去したので、ドッジボールはのびのびできるようになりました。



夏の風物詩「スイカわり」



1歳のお誕生日会 ローソクをフー

こいのぼり、スイカわり、プール遊び、運動会、遠足、お楽しみ会、節分、ひな祭り・・・また新しい1年が始まります。四季の移ろいを子どもたちと一緒においに楽しみたいと思います。



みんなが主役の「おたのしみかい」



はじめての雪！

笹下保育園園長 五十嵐 樹